

酒袋



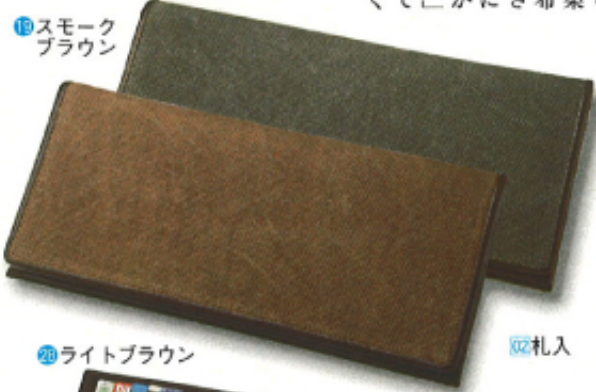
山々から流れ出す清冽な水、豊かな大地に育まれた米、全国三大杜氏の譽れ高き能登杜氏の技に恵まれた金沢では、古くから酒造りが盛んです。造り酒屋では昭和初期ごろまで、もろみを絞るために「酒袋」が用いられていました。お酒を絞ったあとに防腐、防虫効果のある柿渋を塗ったり、錠びを繕ったりという作業を繰り返したり、杜氏の手によって大切に使用されてきた布は、長い年月を経て独特の色合い、風合いを醸し出してくるのです。そんな「酒袋」ですが、自動圧搾機が普及した現在では酒袋を用いてお酒を絞る酒蔵は少ないため、非常に稀少性が高く高価なものとなっています。

この人手困難な「酒袋」の布を伝承の技で再現したのが、天正七年(1579年)創業、藩政期より家柄町人・加賀藩御用商人を拝命したという歴史ある加賀友禰の工房「木倉や」です。職人が昔ながらの製法で織り、能登の地酒と柿渋とで染め上げ、さらに丁寧な縫製を施して財布とバッグに仕上げました。帆布よりもさらにタフな質感ながら、造作や色合いには古都金沢の伝統に育まれた粋と雅びが感じられます。和装洋装問わず「酒袋」特有の凹凸感が生み出す擦れや折りまでもが味わい深く、使うほどに手放せなくなりそうな逸品です。

熟練の職人による丁寧な縫製
手作業による微妙な擦れ感も魅力

「酒袋」という素材の魅力が、伝統の技により最大限生かされた折財布。和装、洋装問わず、またビジネスでもカジュアルでもお使いいただけます。

01 スモークブラウン



02 札入



03 ライトブラウン

素材の味わいと堅牢な造り
酒袋の風合いが堪能できる札入

太陽光線のみから生み出された柿渋のライトブラウン、鉄媒染をかけたタンニと鉄を反応させたスモークブラウン。洗い色合いでどなたにもお持ちいただける札入です。

01 折財布



01 スモークブラウン

02 ライトブラウン



持つほどに深まり行く色合い
耐久性にも優れた酒袋・柿渋染めの男巾着

夏の強い太陽の下で、幾度となく柿渋で染め上げられた茶色の巾着型。着物でもカジュアルな洋装でも使えると、古都の粋な旦那衆に大人気。使うほどに味わいが深まります。

毎日の通勤やお稽古事にも最適
タック付エレガントバッグ

深みのあるスモークブラウンのこのバッグは「酒袋」を鉄媒染めし太陽の下で乾燥させ、ピンタックで優雅さを表現しました。金沢の芸妓さんの間でお稽古事のお伴に最適と評判です。



03 男巾着



04 手提げ

天然本酒袋の手染め銚蔵シリーズ

商品番号 PP0128-849KO

- 01 折財布 7,875円(税込)
 - 02 札入 11,550円(税込)
 - 03 男巾着 10,500円(税込)
 - 04 手提げ一括価格 45,150円(税込)
- 郵送料別価格 47,350円(税込) (毎月5,918円×8回)

●タイプ番号／●折財布、●札入、●男巾着、●手提げ●カラー番号／●スモークブラウン、●ライトブラウン(0102のみ)
●サイズ(約)／01縦9.2×横10×厚2.2cm、02縦19.4×横9×厚2.2cm、03縦24×横20×マチ5cm、04縦27×横38×マチ5cm
●材質／01020304綿100% (天然本酒袋生地)、ラム革(0102のみ) ●重さ(約)／0160g、02140g、03650g
●仕様／01カード入れ×3、札入れ×2、小銭入れ、02カード入れ×5、札入れ、ポケット×2、小銭入れ、03内側：ファスナーポケット、04内側：ファスナーポケット、内側：ファスナーポケット、オープンポケット×2 ●日本製 ●タイプ番号、カラー番号(0102のみ)をご指定ください。

木倉や
天正七年(1579)金沢片町にて創業。髪付油・おはぐろ・香水香油・かんざし・小物等を扱い、天和元年(1681)家柄町人・加賀藩御用商人を拝命した。現在は加賀友禰の袋ものを中心としたオリジナル小物が人気である。

